



## 議会をさらに身近なものに

### 第2回日野町議会報告会

11月19日(月)、林業センターにおいて第2回日野町議会報告会が行われました。  
議会報告会は、議会基本条例に基づき、住民に身近で開かれた議会の実現と議会の活性化を目的に、定例会や委員会など議会の活動に関する説明と住民の方との意見交換の場を設けるために行われています。  
第2回目となった今回は、約50名の参加があり、平成24年3月定例会以降に議会において審議された条例や予算について報告がありました。また意見交換では、議員の皆さんが一堂にそろう、住民の方が意見や要望を直接届けることができる貴重な場であることから、議会の活動や町政に対する思いなどについて活発な意見が出されました。



▲議会報告会の様子

## みんなの命を守るために

### 日野町学校防災研修会

11月21日(水)、南比都佐幼稚園と南比都佐小学校で、日野町学校防災研修会が行われました。  
この研修会は、災害時における幼稚園や小学校での危機管理について学び、職員をはじめ園児・児童、保護者の危機管理意識を高めることを目的に、地震車の体験や窓ガラス・天井の点検等さまざまな研修を行っています。  
今回は、地震が発生した想定のもと幼稚園児と小学生が一緒にグラウンドへ避難し、安全が確保された後、保護者が子どもを迎えに来るまでの訓練を行い、その後、児童と保護者を対象とした講演会等が行われました。  
有事の際、すべての命を守るため関係者が一体となって取り組む大切さを実感し、東日本大震災での教訓をいかした実のある研修となりました。



▲地震が起こったら園児たちはロッカーに入って身を守ります

## 福祉について考えよう

### 心ふれあう福祉のつどい2012

11月23日(祝)、町民会館わだいなホールで心ふれあう福祉のつどい2012が開催されました。  
当日は、約400名の方が参加され、ボランティア団体・福祉教育推進校(桜谷小学校)の発表、記念講演等が行われました。桜谷小学校の発表では、6年生の大橋柚月さんと若松賢一先生がひとり暮らしのお年寄りに手紙を書く活動や点字体験、老人ホームでのふれあい活動などを発表されました。落語家の桂才賀さんによる記念講演では、「子どもを叱れない大人たちへ」と題し、怒ること叱ることの違いや子どもに接する態度、言葉の影響について、ご自身の体験をもとに講演をされました。



▲福祉教育推進校(桜谷小学校)発表の様子



▲ボランティア団体(日野レクリエーション協会「とんぼ」)さんの発表。会場に集まった皆さんで簡単なゲームを行いました



# まちの

## 朗読で伝える日野のよさ

おしゃべりアート10周年記念 朗読のつどい

11月25日(日)、大字村井の風流郷邸で朗読サークルのおしゃべりアート発足10周年を記念し、朗読のつどいが行われました。

おしゃべりアートは、わたおきホール虹で行われた平成13年度話し方教室修了生の皆さんが、日野の昔話や民話を朗読し、知ってもらうことで地域の再発見につなげていきたいとの思いで発足され、町の文化祭や有線放送「近江の昔話」で朗読をされるなど、さまざまな活動をされています。

当日は、会場に入りきらないほどたくさんの方が集まり、挿絵を映し出したりオカリナやギターの音色とともに朗読をされたりといった演出に、会場が一体となって話に聞き入っており、語られるお話は地域の情景が目に見え、心に染み入りました。



▲話に聞き入る皆さん

## 地域・生活・歴史を学ぶ

西桜谷地区で通学合宿を開催

11月29日(木)から12月1日(土)までの2泊3日、西桜谷公民館で初めて通学合宿が行われました。

通学合宿は、子どもたちが地域の協力を得て公民館で寝泊まりし、炊事などを自分たちの力でを行い、学校に通う体験活動です。

今回は13人の子どもたちが参加し、お昼に食べるお弁当を詰めたり、地域のお家で「もらい湯」をしたりと、さまざまな体験を行いました。また、夜のつどいでは地域の歴史を紙芝居や写真で学ぶなど、普段の生活だけでなく地域のつながりや歴史についても学ぶ機会となりました。



▲地域の大人と子どもがふれあう場となりました

## 心と襷をつなぐ大会

第43回町民駅伝大会

12月2日(日)、大谷公園グラウンドをスタート・ゴールに第43回町民駅伝大会「月ヶ丘駅伝コース」が開催されました。

この大会は日野町連合青年会(池内教真会長)が主催し、青年団員、参加者地域、みんなの心をつなぐことを目的に毎年開催されています。各チームからランナーの安全を守る立哨係(しんせうけい)を選出したり、日野町女性団体連合会と日野町赤十字奉仕団が会場で豚汁(とん汁)を作られたりと青年会が中心となって、地域・参加者をつなぐ大会となりました。

今年は、57チーム約500人が参加され、地域・職場等さまざまなチームが襷をつなぎ、日野の町を走り抜けました。



▲熱い思いのつまった襷が繋がっていきます(第一中継所)